

農林業を基幹に観光で活性化



農業

高山村は農林業を基幹産業に、観光立村に向けた取り組みに力を入れています。農業は、高山村の景観に配慮した経営基盤の整備を行い、米、野菜、村の花のりんどうのブランド化に取り組みほか、付加価値の高い6次産業化をめざし新たな特産品や商品開発を積極的に支援しています。

香りが良く柔らかくておいしい「高山きゅうり」は、高山村以外では手に入りにくい伝統野菜で、一般のきゅうりの3、4倍の大きさがあります。こうした高山村のおいしい農産物を生かし、官民協働の「たかやま村ベジブルグループ」を中心に地産地消メニューの普及を進め、平成26年度は群馬県初となる「関東農政局長賞」を受賞しました。地域の食材を生かし、学校、家庭、施設でライフステージを通じた食育と健康増進の活動に取り組んでいます。

森林は、良質な水を育む水源かん養、土砂災害の防止、二酸化炭素の吸収・貯蔵する環境保全の機能を持ち、レクリエーションや教育の場、野生鳥獣の生息の場として適切な保全が求められています。高山村では、



村のがっこう はたけ組



こんにやくいも

森林整備の現状と課題を踏まえ、望ましい豊かな森林を育てていくための指針として平成25年から10年間の森林整備計画を策定し、26年度に変更を行い、森林の機能の総合的な保全につとめています。

農業の担い手の減少、高齢化などの諸課題に向き合い、道の駅「中山盆地」と農林事業の連携により、体験型グリーンツーリズムによる交流促進をはかっています。道の駅、ぐんま天文台や村内の民間観光施設を拠点に、「高山モデル」の観光事業を創出し、村の活力強化をめざします。

自然と共に暮らすー生活環境の充実



浄化槽施設



河川工事

高山村は、緑豊かな山々にいだから、村の中央を名久田川が流れる高原地帯です。高山村には、美しい星空や農村の原風景が残されており、かけがえのない村の魅力となっています。

私たちの財産である豊かな自然と村の景観を保全しながら、調和のとれた発展をめざし、社会基盤の維持や環境衛生対策に力を入れています。合併浄化槽の設置や集落排水処理施設の整備を進め、環境の保全と循環型社会の実現に向け、村民と一体となった取り組みが着実な成果を上げています。

東日本大震災以降、防災に対する意識が高まり、集中豪雨、豪雪など自然災害にも備えた安心・安全なまちづくりが強く求められています。消防活動や地



消防団活動

域防災組織の強化、緊急物資の備蓄、防災行政無線の充実、防災知識の普及に努め、避難時の要配慮者など増加する災害弱者も視野に入れた自助、共助、公助の充実をはかっています。

少子高齢化が進行するなか、居住促進をはかり人口減少対策にも力を入れています。村民の誰もが生きがいを持って地域で暮らせるよう、自治会活動やボランティア活動で一人ひとりの力を発揮し、村民総参加の村づくりを進めています。